

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	株式会社ラグーナ出版
住 所	鹿児島市西千石町3番26号
電話番号	099-219-9750

事業所番号	4610101851
管理者名	森越まや
対象年度	2020年度

(Ⅰ) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		45
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

(Ⅱ) 生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	40
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）

◎	①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○
	②利用者を職員として登用する制度	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
◎	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○
	④フレックスタイム制に係る労働条件	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
◎	⑤短時間勤務に係る労働条件	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○
	⑥時差出勤制度に係る労働条件	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
◎	⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○
◎	⑧傷病休暇等の取得に関する事項	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○
小計（注1）		点

（※）任意の5項目を選択すること

（注1）8以上:35点、6～7:25点、1～5:15点

(Ⅳ) 支援力向上（※）

◎	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	
	参加した職員が1人以上半数未満であった	
	参加した職員が半数以上であった	○
◎	②研修、学会等又は学会誌等において発表	
	1回の場合	
	2回以上の場合	○
◎	③視察・実習の実施又は受け入れ	
	いずれか一方のみの取組を行っている	○
	いずれの取組も行っている	
◎	④販路拡大の商談会等への参加	
	1回の場合	
	2回以上の場合	○
◎	⑤職員の人事評価制度	
	人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	
	⑥ピアサポーターの配置	
	ピアサポーターを職員として配置している	
	⑦第三者評価	
	過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	
	都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	
小計（注2）		7
		点

（※）任意の5項目を選択すること

（注2）8以上:35点、6～7:25点、1～5:15点

(Ⅴ) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
		点
		1事例以上ある場合:10点

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点
生産活動	5点		20点	25点			40点	
多様な働き方	0点		15点	25点			35点	
支援力向上	0点		15点	25点			35点	
地域連携活動	0点			10点				

合計

155

点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（2020 年度）2020年4月1日～2021年3月31日

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間 25,853 時間

雇用契約を締結していた延べ利用者数 5,670 人

利用者の 1 日の平均労働時間数 4.6 時間

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（8 月～7 月）

前々年度（2018 年度）

生産活動収入から経費を除いた額 24,816,761 円

利用者に支払った賃金総額 21,715,939 円

収支 3,100,822 円

前年度（2019 年度）

生産活動収入から経費を除いた額 26,396,483 円

利用者に支払った賃金総額 20,676,771 円

収支 5,719,712 円

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（2020 年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検助奨に関する制度

⑤免許・資格取得、検定の受検助奨に関する制度を活用した人数 2 名

※取得を進めた免許等：

1) ピア・サポーター養成講座

制度の活用内容：

2) 鹿児島県ピアサポーター養成講座受講 2 名

②利用者を職員として登用する制度

⑥職員として登用した人数 1 名

⑦うち1名は雇用継続期間が6月に達している

⑧うち1名は前年度末日まで雇用継続している

※登用した日 年 月 日

勤務形態：〇〇〇

就業時間：時 分～時 分

職務内容：〇〇〇

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

⑨在宅勤務を行った人数 1 名

※実施した期間：2020年9月1日～現在

就業時間（在宅勤務）：13時00分～16時00分

職務内容：営業事務部（刊行物のマーケティング調査、事務、販促先資料作成）

④フレックスタイム制に係る労働条件

⑩フレックスタイム制を活用した人数 名

※実施した期間：月 日～月 日

就業時間（コアタイム）：時 分～時 分

職務内容：〇〇〇

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑪短時間勤務に従事した人数 25 名

※実施した期間：2020年4月1日～2021年3月31日

就業時間（短時間）：25通りの勤務体系（人に合わず）

職務内容：営業、制作、事務、編集

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑫時差出勤制度を活用した人数 名

※実施した期間：月 日～月 日

就業時間（早出の場合）：時 分～時 分

就業時間（遅出の場合）：時 分～時 分

職務内容：〇〇〇

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑬時間単位取得を活用した人数 31 名

⑭計画的付与制度を活用した人数 31 名

※取得した制度：有給休暇の時間単位取得 ☒

計画的付与制度 ☐

取得した期間：2020年4月1日～2021年3月31日

取得日数・時間 ※就業規則に応じた有給日数を全員に付与し全員が取得した。

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑮傷病休暇等を取得した人数 3 名

※取得した内容：傷病休暇制度

取得した期間：2019年11月1日～2020年10月16日

就業時間：9 時～ 4 時

職務内容：編集部

(※) 当該制度等を活用した任意の 1 名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（2020 年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

⑯研修計画を策定している ☒

⑰研修実施回数 外部 0 回／内部 12 回

対象職員数 8 人

うち研修受講者数 8 人

※研修名 感染症対策、障害者総合支援法、精神疾患等

研修講師 森越、川畑

実施日・受講者数 毎月第 1 火曜日 6～8 人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

⑱研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 4 回

※研修、学会等名

※学会誌等名 「シナプスの笑い」40～42号、

※学会誌等名 書籍『統合失調症の過去、現在、未来』

掲載日 6月20日、10月20日、2月20日、3月26日

発表テーマ 精神疾患のある働き方、生き方、共生など

③視察・実習の実施又は受け入れ

⑲先進的事業者の視察・実習の実施している ☒

⑳他の事業所の視察・実習を受け入れている ☒

※先進的事業者名 〇〇〇

実施日／参加者数

※他の事業所名 フレンスFM、NHK、KTS、南日本新聞、志学館大学、鹿児島国際大、名桜大、鹿児島大、志学館大、県内 2 社、保健所、人を大切に経営する経営学会、鹿児島県中小企業家同友会加盟企業。

④販路拡大の商談会等への参加

⑳販路拡大の商談会等への参加回数 ※下記参照

※商談会等名 1) 定期商談、2) 部決商談、3) 自費出版商談

主催者名 1) 共同受注センター、2) 取次 3 社、3) 著者

日時 1) 月 1～5 回程度、2) 新刊のたび、3) 依頼時

内容 1) 名刺、冊子、フライヤー等の商談。

2) 全国書店への配本数の商談。3) 原稿整理～納品までのご説明。

⑤職員の人事評価制度

㉑職員の人事評価制度を整備している ☐

⑳当該人事評価制度を周知している ☐

人事評価制度の制定日 年 月 日

※ 資格、経験年数に応じて昇給しているが、その他の評価を未導入のため、今回は 0 点とした。

⑥ピアサポーターの配置

㉒ピアサポーターを配置している ☐

㉓当該ピアサポーターは「障害者 7 種」研修を受講している ☐

※配置期間 月 日～月 日

就業時間 〇〇〇

職務内容 〇〇〇

⑦第三者評価

㉔前年度末日から過去 3 年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐

※評価を受けた日 年 月 日

第三者評価機関 〇〇〇

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

㉕国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ☐

※認証を受けた日 年 月 日

規格等の内容 〇〇〇

(※) 実績のうち 1 事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。
必要に応じて行を増やす等、

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社ラグーナ出版
住 所	鹿児島市西千石町 3 番 2 6 号 3 階
電話番号	099-219-9750

事業所番号	4610101851
管理者名	森越まや
対象年度	2 0 2 0 年度

地域連携活動の概要	
<活動内容> 1) 出版活動では、対象者が主体となった定期刊行雑誌「シナプスの笑い」（年 3 回）を刊行。企画立案、編集会議、デザイン、販促活動、納品、事務処理に対象者がかかわっている。精神保健医療福祉、障害者雇用、郷土本を刊行し、地域連携では、制作では印刷所、営業では書店・取次との商談等に対象者がかかわっている。 2) 鹿児島県の官公庁、大学、病院、一般企業から、名刺、冊子、記念誌等、リーフレット等を受注。受注、デザイン、制作、検品、納品、事務処理において対象者がかかわっている。 3) 昨年はコロナにより中止が多かったが、れいんぼうフェスタ、福祉フェスタ、南九州出版フェア、友愛フェスタ、わくわく福祉交流フェスタほか多数に参加し、利用者は会場設置、販売、事務処理にかかわっている。 <目的> 対象者（精神科患者）は、就職以前、人や地域から孤立し、自己効力感（自分は役に立っているという感覚）が低い方が多数います。人や地域とつながる目的は、人の土台となるこの感覚を取り戻し、それぞれが強みを生かすことで、たとえ精神障がいがあっても暮らしやすい共生社会の実現です。地域のメリットは、長期入院の予防、メンタルヘルスへの理解、実際に会うことで偏見の解消、対象者のメリットは、地域における役割の自覚、地域貢献しているという意識、仕事を通した安定した生活が病気の回復に役立っていることです。 <成果> 各部署の業務を分解し、本人の強みに応じて適材適所に配置すること、体力（体、頭、気、薬の疲れ具合）に応じた勤務時間数を個別に相談するなかで、お互いに、病の回復が業務内容、勤務時間数で確認できるようになりました。また、地域における役割を理解することで、感謝の心と自信が深まり、リピーターが増えて、出版、名刺・小冊子制作、製本すべての部門において収益アップにつながっています。 課題は、コロナもあり社会の分断化が進み、精神疾患があってもなくても「生きづらさ」を感じます。また、当事者のみならず、ご家族、きょうだいしい、子どもたち、企業に向けた本がないので、手がけていく所存です。	<活動の様子> 以下の弊社フェイスブックに、地域交流の様子を記載しています。ご覧ください。 https://ja-jp.facebook.com/LagunaPublishing/

連携先の企業等の意見または評価			
株式会社現場サポートの私たちの理念は、「チームを活かす だれがも活きる」であり、理念に基づいたダイバーシティに関する方針を定めています。ラグーナ出版社さんへお願いしている業務には、名刺や記念誌の作成がございしますが、品質の高い業務成果だけでなく、業務の細分化による「だれもが活きる」仕事のやりかたも学習させて頂いています。 また弊社では、「長期疾病者のケアに関するガイドライン」を定め、例えばメンタル不調になった場合でも、会社として可能な限りケアし復活させるプログラムを運用しています。統計上一定数がメンタル不調に陥るわけですが、社内に専門家を置くこともできませんので、その都度ラグーナ出版社へ相談し、バックアップして頂いております。お陰様で離職者も 5 年以上上出ておりません。 名刺の作成や記念誌の作成においては、業務品質が極めて高く、障がい者の就労継続支援事業所であることを、私たちが意識することはありません。それ以外に、メンタルヘルスについて学ばせて頂いていることは確実に弊社の力となり、本年4月には新卒の障がい者雇用にも繋がりました。新入社員自らの障がいに関する自己開示や、仕事の対する姿勢など既に社内に良い効果をもたらしています。 ラグーナ出版社と、お互いの良いところを学び合う関係を引き続き築いていきたいと考えます。			
連携先企業名	株式会社現場サポート	担当者名	社長 福留進一さま